



# 【新コーナー】地本カルトクイズ



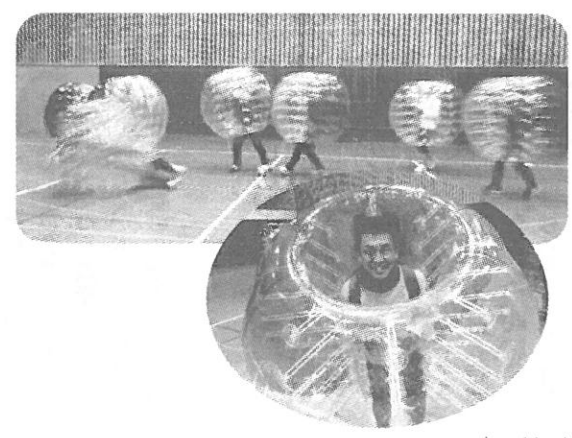
組合員がたくさん増えています。新しく組合の仲間になってくれた皆さんに、もっと東海地本のことを知ってもらおうと新コーナーを考えました！  
 昨年は、結成25周年にあたり、記念行事も盛大に行い、25年の歴史の積み重ねを後に伝える記念誌も作成できました。この記念誌を中心に、毎号の風光るに3問の地本カルトクイズを出題します。皆さん、ぜひご応募ください。

**【第3回目カルトクイズ】**  
 第1問：愛知県民集会がスタートしたのは何年でしょう  
 第2問：2016年1月23日に行われた地本委員会の発言は何本でしょう  
 第3問：第1回グリーンフェスティバルの目標参加人数はお題：「新年度の抱負は？」  
 応募方法：FAXかメールでお気軽にご応募ください！  
 FAX：052-881-2998/E-mail：fukuhotk@onyx.dti.ne.jp  
 (件名にカルトクイズと記入願います！)

**【2回目の当選者】**岡村 悦子さん(西部くさのみ分会)  
 お題：卒業式の思い出は？→  
 「短大の卒業式で大好きな鞍掛先生のピアノで“たのしいね”を全員合唱したこと」  
**【2回目の正解】**  
 1問：青年部ができた年は？→1999年  
 2問：1998年夏期組合学校の記念講演講演者のお名前をひらがなフルネームで。→さなだなおしさん  
 3問：東海地本一番最初の執行委員長は？→平出暁さん

回答応募の際には「お題」にそって一言メッセージも書き添えてください。全問正解の方のうち、3名の方のメッセージを紙面に掲載し紹介します。見事掲載された方には地本風光るから1000円の図書カードを進呈します！ぜひぜひ、ご応募ください！  
 応募締切：4月28日(木)

## 今年も、障害協議会主催スポーツ交流会開催！



3月4日(金)に毎年恒例となってきた、障害協議会主催のスポーツ交流会を南区にある東亜合成体育館で開催しました。障害協議会では毎月定例の部会を開いているのですが、会議だけではなく、他の分会との交流も大切にしたい、楽しいことを通してつながり作りができたらしいな...と考えスポーツ交流会を開催しています。今回は、ちよだ・そよ風・ほけつと・みなと・さくらんぼの会、すずかけ、めいほく障害部などの分会から20名以上が集まりました。

今年は何と最近流行りのパブルサッカー！各プレイヤーが直径1.5メートル、重さ13キロ



グラムのBUNO田というパブルボール(ウイキペディア参照)に身を包みフットサルの試合を行うもので、試合開始はセンターサイドから走ってぶつかり合うところからスタートします。ボール

**【編集後記】**  
 風光るの記事の内容を考え、自分たち自身でパソコンで作る作業を始めて2回目となりました。今回はパタパタの中の作業でしたが、みんなで協力し合って作っていききました。頂いた原稿を打ち込んでいくのに、普段はあまり使うことのない専用ソフトを使いながらの作業なので、以前使った方を教えてもらったのですがまだまだ慣れて、いろいろなおもしろいことを試してみたいなと思ったり、やり方ではなかったかな...というやつ

てやればよかったんだっけ...などとみながら聞きながら作業をしていました。まだまだ完成には程遠かったのですが、打ち込めた時にはちよつとした達成感でした。作業にまだまだ慣れない分、いろいろの人に助けてもらい協力してもらいながら「風光る」を作っています。これからもこつとして作っていききたいです。みんなに楽しく読んでもらえる風光るを考えていきたいなと思っています。  
 (みーちゃん)

## 実態伝え改善を迫った中央行動

池内わらべ分会  
 安藤 光枝

3月7日(月)、福祉保育労働の中央行動が行われ、東海地本からは、相川・坪谷(みなと)、富村(新瑞)、渡辺(執行委員)、藤原(書記局)、井上・薄・安藤(四役)の8人が参加しました。

厚生労働省労働基準局との交渉の最大の重点、「福祉現場の職員配置基準の低さが時間外労働を生んでいることを認めさせ、厚生労働省内で、労働行政と保育・障害等々の厚生行政の部署間の連携を意識づけさせること」について絞って報告します。

労働時間の把握・賃金未払い問題・休憩時間が取れないなど

新瑞福祉分会の富村分会長も、分会で取り組んだ残業時間実態調査から保育現場のサービス残業時間が多い人では月に50時間あることを報告。「時間外労働を減らすためには保育の制度そのものをもっと充実させてほしい。保育に関わる業務は時間内でできるように、配置基準を考えてほしい」と訴えました。労働基準局からは「法令違反があれば指導監督していきたい。」という回答でしたが、障害担当課からは「配置基準をあげていけば小規模な事業所には負担となり事業所運営が厳しくなる」などという本末転倒な回答。児童部局からは「保育の職員配置

基準は十分ではないところ、まずは3歳児の20:1を15:1で行っているところに加算をつけた。27年度補正予算で、ICT化推進で業務負担軽減を図る予算計上を行った」というような本格的対策とはいえない回答。労働行政と厚生行政の縦割り解消の努力を感じることができませんでした。引き続き訴えていく闘志に燃えました。

また、「非正規労働者の均等待遇を保障すること」という要求項目に関わって、「差別的取り扱いの禁止」とは具体的に何を言うか?という問いに対しては「正規労働者に昇級システムがありパート労働者になんかという差別的取り扱い」と答えがありました。私たちの職場ではどうでしょうか?組合としても意識を持っていかねばならないと思えました。



作：藤井 宏子さん(けやきの木分会)

**【風の音】**  
 休日、友人と日間賀島にアソビに行き、美味いものを食べ、迷路のような町を散策し、ハイジのプランコにも乗って、とてもいい息抜きになりました。すれ違ふ島の人たちは優しく、「こんにちは」と笑顔で声をかけてくれたり、「よかつたら案内するよ」とガイドの仕事をしている方に案内してもらったりしました。時々出てくるこの木は何だ?の植物クイズも楽しみなながら、日間賀島の話はたくさん聞いていただきました。

そして帰りの船の中、「小さいときのアソビ」という話で盛り上がり、セーラムンやおジャ魔女どれみごっこ、名探偵コナンの少年探偵団を真似て「すみれ探偵団」をつくり、家の近くをパトロールしたこともありました。今思うと何やっていたんだろうね、と友人と笑い合っていました。不思議な世界でおかしなアソビをしていた子ども時代ですが、「アソビ」って何だったのかがお風呂の研究。湯船に足がつかたとき、湯が沸かなくて、湯を意図的に作り出せないか、右手でできたから次は左手で、湯を如何に大きくするかの、二つの湯がぶつかったらどうなるか、と一人黙々とあれこれ考えていました。また湯船の中で両手を左右に振り、お湯の揺れのタイミングと合うと揺れが大きな波になっていき、お湯を操っている気分になりました。親と一緒に入っていると気持ちが悪くなるからやめると言われたことも覚えてあります。

みなさんも小さいことしたおかしなアソビはありますか?  
 ニックネーム「M」

# 16 国民春闘方針、統一要求を確立

## 第23回地本委員会開く

1月23日(土)、第23回地本委員会を開催し、16国民春闘方針、統一要求を確立しました。地本委員107名中、出席82、委任状24、欠席1。オープナー5の参加がありました。

討論では、平和、職場闘争、公的福祉保育拡充の取り組み、支部・種別の活動からの報告など20本。とりわけ「要求討議」職場闘争」に関わっての発言が多く、分会が学

習やアンケート・グループ討議など工夫して取り組み「忙しいからこそ組合で改善」という姿に励まされました。職場で声をあげ、国・自治体にも向かっていくのが私たち福祉保育労働組合です。

16春闘方針議案の「はじめに」に掲げた「要求してこそ労働組合」「闘って元氣」。この言葉を含言葉にして活動していくことを全員で確認しあえた地本委員会でした。

### 地本委員会発言集

LDTで平和の取り組み  
すずかけ分会 新城地本委員  
2015年9月

19日に戦争法が可決され、反対行動に参加する中でシールズの中でシールズに感化された。自分ができるか考え、若者に声をかけた。LDTで辺野古の基地移設問題や戦争法の危険を市民に訴えた。ぜひ平和の活動に参加してほしい。

### 分会で反原発も発信

すずかけ分会 鷹巣地本委員  
『日本と原発』という映画を、3月13日10時〜14時、小牧で自主上映する。いまだ10万人の避難者等がいる中で原発再稼働が進められている。弁護士が作った映画で、多くの人に見てもらい原発の現状を知ってもらいたい。

### 広島ツアー行きます!

かわらまち分会 西川地本委員  
第2めいほく分会 平石執行委員  
2月6・7日に広島にツアーに行く。定期大会でも話をしたが、組合学校の平和の分科会で被爆地の原爆

### 「シリーズ・名物組合員」 なえしろ分会 横井あかねさん

私は、昨年の5月から料理教室に通っています。実は、毎日子どもたちに給食を作っています。ですが、料理教室に通ったことは初めてなのです。



きっかけは、友達と一緒に行ったホテルのバイキングで、料理教室の(イケメン!)先生がデモンストレーションをしていたのを見たことです。そこで美味しい料理をいただき興味を持ったことで、ホテルの冊子を見て先生のプロフィール

ドームや原爆資料館に行きたいという意見が出され自主企画した。13名で参加し、語り部から話を聞いたり広島の組合員と交流を予定している。

障害分野の制度・政策要求をみなと福祉分会 相川地本委員  
障害分野では日割り単価で報酬が支給される。利用者が来たらお金が支給されるという制度で、警報やインフルエンザや祝日などで来る人が減ると減収になる。日割り単価についての要求をしていきたいが、後手に回ってしまっているのが現状。

要求を伝え、ともに考える団交を。学び交流もしながら...  
ほけつ分会 丹羽地本委員  
職員35名中25名が組合員で、少しずつ増えてきている。病休者が2名出たので、これまでの事や今の動き方について話してきた。

団交交渉で自分たちの要求をしっかりと伝えよう、一緒に考える場にしようと考えている。「学び」「楽しみ」をいれて交流をしている。

未加入者も大切に、分会活動さくらんぼの分会 濱田地本委員  
毎月第2金曜日を定例に分会を開いていて、未加入の人にも声をかけ聞くことを大切にしている。分会では、「読書会」を行っている。団体交渉は、理事会と確認ができていないのでどうしたら改善できるかのかを、みんなで考えて望んでいきたい。

給食室職員の賃金をB等級に  
けやきの木分会 田中地本委員  
秋闘要求では、給食室職員の賃金について要求。今は、C等級の2号俸UPになっているが、給食室と保育室の仕事に差をつけてはいけない。B等級を要求する。団交では、自分の思いを伝え、財源についても理事と一緒に考えていきたい。

残業実態調査をやって伝える  
新瑞福祉分会 神田地本委員  
今年度からタイムカードから手書きの勤務表になった。保育が終わっても事務など残っていることが多いが、勤務表の勤務時間を書かなくてはいけないので実態と違う嘘は書きたくないので、分会で残業した内容と時間を記録している。何が必要な残業なのかを理事に伝えていきたい。組合休暇の要求もしている。

話し合いのない  
変形労働制の導入は許さない  
社会館分会 北原地本委員  
10月に1ヶ月、たった10分説明があっただけで、変形労働制が導入された。1日8時間を5日で40時間になるが、祝日がある日は32時間になってしまうから、土

曜の週休を勤務にされた。有給を取らずればいいと理事から言われた。分会で話し合い、しっかりとした説明をしてほしいと理事に要求した。11月から元の週休2日制に戻されたが、今後も注視していく。

週休を増やす提案を分会から  
春日井福祉分会 吉田地本委員  
土曜日の勤務時間の5時間を7.5時間にし、週休を増やすこと分会で討議し理事会に提案した。組合員の中でしんどい・有給が取れないと意見が出されたが、組合活動ではなく、もとの働き方がしんどい。労働と組合活動を整理して見直していきたい。

要求討議から団交へ向かう  
こくま分会 高見地本委員  
第二こくま保育園ができて3年が経った。分会の中で年数別で3つのグループに分かれて、要求討議を行った。住居手当、持ち家35000円の廃止はとりやめてほしいことを団交申し入れ書で提出した。日程は未定だが今年度中に行いたい。(↓その後2月19日に団交を行いました!)

処遇改善を進めるために  
くみの木分会 青山地本委員  
新制度になり、休日保育等補助金が削られないか不安だった。議員さんに来てもらい保育の実態を見てもらった。休日保育は他園からも子どもが来ているので、市に訴えて概算払いとの回答が来た。ボーナスが満額支給されたことはなく、今回は補助金で半額支給された。

団体交渉を積み重ねて  
ゆたか支部 平岡地本委員  
団交を11・12月に行ってきた。非正規の処遇改善の要求があり、2月には非正規中心で団交する。処遇改善については、最初の年には全員30000円上がったことこれからのベースアップは難しい。マインナー新規採用者の不提出者は採用しないという文言は削除させた。

素敵な仲間たちのために  
頑張りたい  
天白福祉分会 石濱オプザパー支部では仲間を知ることで、こんな素敵な仲間たちのために頑張りたくて活動している。天白福祉分会では50周年事業が2月に控え、超勤が代休をつけてほしいと声を挙げたところ、理事から「出席した正規職員には1日1万円付ける」という回答を貰えた。

支部で分会活動を支える  
熱中港支部 服部地本委員  
支部会議の中で「みんな集まれ熱中港」をテーマにOB会議を行った。年間総労働時間についてみんなで話し合い、さくらんぼ分会では20091時間ということで長い。団体交渉を行おうと思う。

臨八部会を要求の出せる場に  
社会館分会 片山執行委員  
現在、第1木曜に定例会を行っている。10月からは出張部会も始めて、めいほく分会、めいほく分会に訪問した。定例会・交流会をする中で要求を出せる場にしていきたい。随時出張先を募集中!楽しく交流しましょう!

保育協で学習・交流を  
大切に活動  
池内わらべ分会 川畑地本委員  
2015年度は給食担当者の交流、なども行い、学習・交流を大切にしてきた。2016年度も12月に働き方の交流を行い、長く働き続ける為にどうしていくか見つめ直す機会になった。今後も学習・交流を大切に活動していきたい。

健康の取り組み  
平和の取り組み  
西原医療センターくさのみ分会 岡村執行委員  
2月12日に職業病対策部の健康調査の報告とストレッチの学習会を行う。あすキャンを今年も行う。震災から5年まだ復興には程遠い。今年も地本に集まり取り組む。福島の現状も伝え、みんなで考えたい。

グリフエスについて  
かわらまち分会 八萬執行委員  
5月7日に新入組合員を歓迎するグリフエススタイルを開催する。グリフエス実行委員を募集中! 第1回実行委員会は2月8日に行うので、ぜひ分会から送り出しを。

料理教室でちょっとしたコツ、知っているとよい裏技などを学びました。丁寧に食材と関わることで(例えば、鶏肉の臭みをとっていただくことなど)よりおいしく料理を作っていくことを知り、大量調理を作っていく日々ですが、食材の良さを生かす丁寧な調理を改めて大切に感じました。この料理教室で知った知識をいかし、食材の良さも伝えて、さらにみんなが美味しいと笑顔で言ってくれよう。な給食づくりを心がけていきたいです。